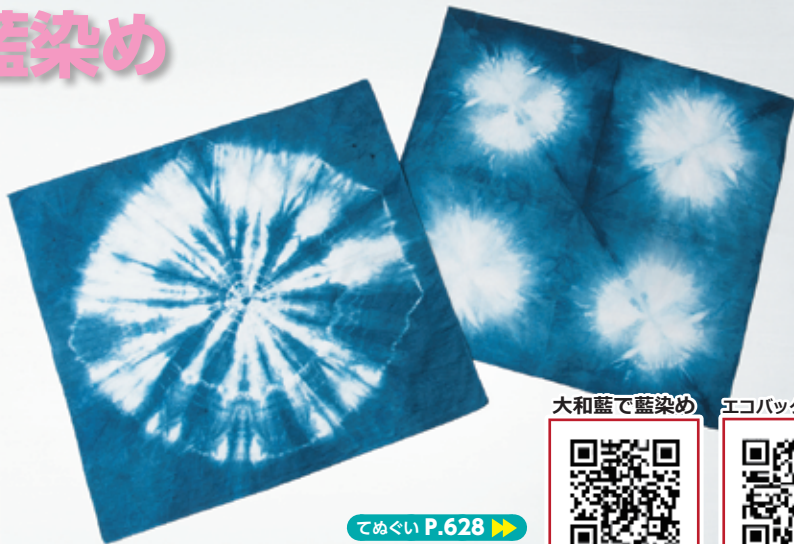


藍染め



大和藍で藍染め



つくり方動画

エコバッグ絞り染め



つくり方動画

てぬぐい P.628 ▶▶

エコバッグ P.630 ▶▶

ハンカチ P.632 ▶▶

● 藍染め

藍染めは独特の色あいが魅力で、時間の経過によって生じる微妙な変化、洗えば洗うほど表情が変わるなど昔から日本人に愛されてきた伝統の色を出すことができます。この藍染めには自然の発酵菌を利用する「発酵建て」と化学薬品を利用する「化学建て」がありますが、いずれも簡単にできるものではありません。カタログ掲載の商品は誰にでも手軽に藍染めが体験でき、危険な薬品や特別の器具を必要としない染料で、初心者でも簡単に楽しむことができます。



● 大和藍で簡単絞り染め

(藍染液を5Lつくる場合)
大和藍染料は水に溶かすだけで誰でも簡単に藍染が楽しめます。絞り染めとは、布を絞ったところが染まらずに模様になる手軽な技法です。
《必要な用具》
ハンカチ、大和藍染料、バケツ、手袋、新聞紙、ビー玉、輪ゴム



① 絞り技法の模様を付けるためハンカチにビー玉を輪ゴムなどで止め、ムラにならないようあらかじめ水で濡らしておきます。



② ポリ手袋をして大和藍20gをポリバケツに入れ、水5Lを加えながら1~2分よくかきまぜます。表面に浮いた藍のあわ(藍のはな)を新聞紙で取り除きます。



③ 染めるものが空気に当たらないよう藍液の中に沈めて手でもみながら3分程染めます。取り出して5分間くらい空気にあてると、緑色から藍色に発色します。



④ よく水洗いしながら輪ゴムを外します。酢酸を入れた水に15分程つけこむと、色止め・発色します。水洗いをしたら完成です。



※購入後は1年以内にご使用ください。

大和藍染料 (藍染め粉末染料)

291-852 50g ¥5,500 (¥5,000)
291-854 10g ¥1,210 (¥1,100)

水に溶かすだけで薬品を使わず藍染めができます。50gで約500gの布が染められます。藍液はくり返し使用できますが、染まりが薄れていくため、濃く染めたい場合は新たにつくり直してください。



ハイドロコンク (還元剤)

291-862 100g ¥330 (¥300)

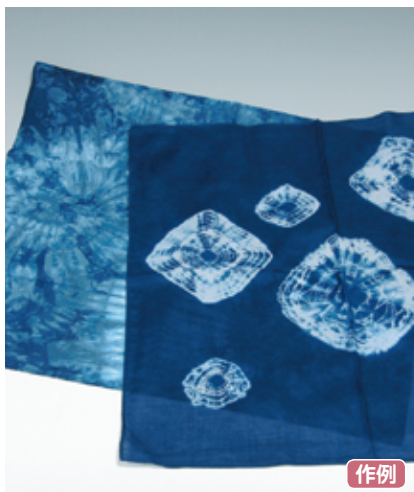
数日経った大和藍の藍液を復活させたいときに、ソーダ灰と併せて使用します。藍液1Lに対して2gの割合で使用します。



ソーダ灰 (還元促進剤)

291-865 小 100g ¥165 (¥150)

数日経った大和藍の藍液を復活させたいときに、ハイドロコンクと併せて使用します。藍液1Lに対して5gの割合で使用します。



作例



※パッケージが一部変更になっております。

紺屋藍パック

291-853 ¥1,980 (¥1,800)

《セット内容》

紺屋藍10g、藍溶解剤125g、藍色止剤20g、ゴム手袋、取扱説明書

紺屋藍は驚くほど簡単に藍染が楽しめます、一回の染色3分間で十分に濃く染まります。紺屋藍、助剤に含まれる成分は環境に優しく安心です。藍液は何度も染められます。ハンカチで10枚以上、Tシャツで5~6枚程度は染まります。



藍還元剤

291-860 25g×2 ¥330 (¥300)

紺屋藍液5Lに対して1袋(25g)の割合で使用します。

紺屋藍の藍液が数日経過して濃い緑色や藍色に変色して染まらなくなった藍液を、元の藍液に回復させる還元剤です。※枚数を染めて染まる色が濃くなった藍液は、回復はしますが濃くは染まりませんので、濃く染めたい場合は新しく藍液を作り直してください。

工芸

- ガラス
- モザイク
- ステンドグラス
- ステンドカー
- アクリル
- キャンドル
- あかり
- 和紙工芸
- 紙すき
- 押し花
- ハーバリウム
- 染色
- てぬぐい
- エコバッグ
- レザー
- 織物
- 手芸キット
- 籐・竹工芸
- らでん
- 蒔絵
- 堆朱